

令和3年度事業報告

〔自 令和3年4月1日 ～ 至 令和4年3月31日〕

〔ミッション〕

横須賀市の都市像「国際海の手文化都市」の実現を支援するために、市民の国際感覚を高め、市民レベルの多文化共生社会をめざす国際交流事業を推し進めます。

- 【1】 自国の文化を知るとともに、多様な文化への理解を深め、多文化共生の街づくりをめざす。
- 【2】 すべての人々の人権が尊重され、一人ひとりが大切にされる社会づくりに貢献する。
- 【3】 各人がもつ能力や経験を生かし、夢があって、ワクワクして、躍動感があり、明るく楽しいボランティア活動ができる場をつくる。

〔事業概要〕

- 【1】 会員を大切にされた協会運営を心がけ、ミッションの実現をめざし、一つひとつの事業を遂行した。

登録状況：【個人会員】387人（正会員308人・家族会員2人・準会員77人）

【団体会員】9団体 【賛助会員】18団体

- 【2】 コロナ禍で出来る範囲で、会員のボランティア参加登録を勧めると同時に、ボランティアが活動しやすい環境作りを考慮し、適切な活動の形式を模索した。
- 【3】 コロナ禍でも出来る活動形式で、会員相互の交流を深めると同時に、会員のみならず広く市民に対しても国際交流を行なう機会を提供するように努めた。
- 【4】 市民生活の安全を第一としてとらえ、特に外国籍市民の防災意識の啓発及び災害発生時の安全確保が行える体制を整備するよう市民と一体になって努力した。
- 【5】 認定及び市の指定資格取得により、寄付金獲得の活動を実施した。

I 運営業務

(1) 会議体

① 理事会

10月28日（木）理事・運営委員合同会議（令和4年度予算案の審議 他）、1月12日（水）理事・運営委員合同会議（令和3年度予算修正 他）、1月28日（金）三役会議（役員改選、令和3年度収支予想 他）、3月18日（金）三役会議（令和4年度委託事業 他）を実施。

② 運営委員会

協会の運営に関する事項を審議し、重要事項については理事会への提案内容を纏めその承認を求めた。令和3年度は2回、理事会と合同で開催した。

③ 事業執行委員会

理事、執行責任者、事業部門代表者などが参加。事業執行の円滑化を図ると共に事業の運営管理を行なった。令和3年度は3回開催。

④ 総会

5月22日(土)第19回通常総会開催。

第19回通常総会は、新型コロナウイルス感染拡大状況を鑑み、議決権行使によって開催した。議決権行使による出席者170名の審議により、令和2年度事業報告及び決算報告、令和3年度事業計画及び活動予算に関して提案通り可決された。

(2) 認定資格取得と横須賀市の指定資格取得による義務業務

- ① 年度事業終了後、県NPO事務局及び横須賀市に、所定の書式に基づき、その事業年度の事業報告を作成し報告。
- ② 定められた書類を作成し、閲覧希望者に対する公開措置を実施した。
- ③ 法人の情報公開性を高める為、定められた書式にてホームページ上に公開掲載した。
- ④ コンプライアンス(法令遵守)を徹底した。

(3) 情報提供

① 情報紙発行

ニュースポット：7月に71号を発行した。部数は1,200部。

1月に72号を発行した。部数は800部。

② メールマガジンで6回の情報提供

会員に対して事業活動の案内などを速やかに連絡し、メールによる情報提供をタイムリーに行った。メールアドレスの無い希望者には、FAXや郵送で同じ情報を提供した。

③ ホームページによる情報提供

ホームページの内容充実とメンテナンスを随時行い、常に新しい情報の提供を行った。

II 自主事業

(1) 国際協力支援事業

① 窓口翻訳

外国人、市民などから窓口にて依頼を受けた、戸籍謄本、結婚証明書、出生証明書などの行政書類の翻訳を行った。 60件 受益者35名/従事者3名

② 通訳・翻訳

横須賀市、企業などからの依頼による通訳・翻訳業務を行った。

通訳2件 受益者多数/従事者2名、 翻訳10件 受益者多数/従事者10名

③ 国際貢献 フェアトレードコーヒー販売

コロナ禍のためイベントでのカップ販売を中止した。また事務所での袋売りも一時中止した。

④ 商工会議所パートナー事業

商工会議所との連携を基に、関連する情報を共有化し、積極的にパートナー事業に協力した。

このパートナー事業も9年を経過し、商工会議所の信頼も高く、大きな成果を上げているので、さらに連携を強化して業容の範囲拡大をすすめる。

(2) 国際協力交流事業

① 世界の料理教室

新型コロナウイルス感染拡大状況を考慮し、開催を中止した。

(3) 国際協力啓発事業

① 外国語講座

外国人とのコミュニケーションの基礎手段である外国語、とりわけ市民のボランティア活動に必要な高い英会話をはじめ、韓国語、中国語など多文化共生社会を視野に入れた外国語講座を開催した。横須賀市のコロナ感染症対策方針に沿って開講した。

1 学期：講座数 15 クラス 受益者 113 名/従事者（講師）9 名

2 学期：講座数 15 クラス 受益者 104 名/従事者（講師）9 名

3 学期：講座数 15 クラス 受益者 107 名/従事者（講師）9 名

出前英会話講座：ハッピープリスクール 受益者 15～20 名/従事者（講師）1 名

(4) 自主活動

① ボランティア交流会

新型コロナウイルス感染拡大状況を考慮し、開催を中止した。

② ホームステイ・ホームビジット

今年は依頼が無かった。

③ 国際理解講座

新型コロナウイルス感染拡大により、学校等が休講及び活動を縮小したため依頼が無かった。

④ 英語ガイドツアー

新型コロナウイルス感染拡大状況を考慮し、開催を中止した。

Ⅲ 受託事業

(1) 国際協力支援事業

① 外国人生活相談

横須賀に在住・在勤・在学する外国人が、生活の場で出会う悩み、問題などの相談に応じた。相談は言語別に、曜日を決めて対応した。また、年に数回、横須賀市役所と追浜行政センターで出張相談を行った。 相談件数 115 件 受益者 58 名/従事者 10 名

国別では、タイ 19 件、フィリピン 21 件、日本 15 件、ネパール 11 件、中国 10 件、ブラジル 8 件、ベトナム 5 件、ペルー 5 件、ニカラグア 4 件、アメリカ 3 件、コロンビア 4 件、台湾 3 件、パキスタン 2 件、エジプト 1 件、韓国・朝鮮 1 件、メキシコ 1 件、バングラディシュ 1 件、ポルトガル 1 件

② 日本語会話サロン

横須賀市に在住・在勤・在学する外国人を対象に、日常生活に必要な日本語会話能力を高めるため、会話サロンボランティアの協力のもと、年間で 207 回の教室を開いた。新型コロナウイルス感染拡大のため、いくつかのサロンは一部の期間を休講した。

- 1 学期 (4~7 月) 受益者 74 名/従事者 63 名
- 2 学期 (9~12 月) 受益者 87 名/従事者 67 名
- 3 学期 (1~3 月) 受益者 71 名/従事者 68 名
- ・日本語指導講座「はじめての日本語ボランティア」: 2 月 5、12、19 日 (土)
講師を招き、日本語ボランティアに興味を持つ市民に「日本語支援活動の実際と指導のコツ」について講義をしてもらい、会話サロンボランティアの増員につなげた。
受益者 20 名/従事者 5 名
 - ・指導者交流会: 6 月 12 日 (木)
外国に繋がる児童に対する学習支援に関し、会話サロンで出来ることがあるか検討した。
各サロン、児童によるサロンの利用状況を報告し、学習支援に関する情報も共有した。また、各サロンの学習支援に関する意見を交換した。
受益者 12 名/従事者 1 名
- ③ 外国人防災啓発事業
- 災害時通訳翻訳ボランティア研修: 7 月 3 日 (土)
- 講師を招き、災害時に良く使われるやさしい日本語を学び、実践することで、災害時に取るべき行動を確認した。
受益者 22 名/従事者 4 名

(2) 国際協力交流事業

- ① キッズフェスティバル
新型コロナウイルス感染拡大のため、開催を中止した。
- ② 日本文化体験教室 (JFY) 年 3 回開催
新型コロナウイルス感染拡大のため、開催を中止した。

(3) 国際協力啓発事業

- ① 国際ユースフォーラム
新型コロナウイルス感染拡大のため形式を変え開催した。姉妹都市や市内の青少年が、ZOOM を使用し、オンラインでそれぞれの都市の紹介や意見交換を行い、相互理解と交流を深めた。
- ・1 月 29 日 (土) ヴェルクよこすか及び参加者自宅
第一部: 姉妹都市動画紹介
第二部: 横須賀市学生によるプレゼンテーション
質疑応答 受益者 45 名 (外国人含む) /従事者 17 名

(4) 姉妹都市交換学生派遣・受入事業

- 新型コロナウイルス感染拡大のため、開催を中止した。
- ・姉妹都市交換学生プログラム写真展
5 月 17 日 (月) ~5 月 31 日 (月) コースカベイサイドストアーズ
11 月 12 日 (金) ~11 月 26 日 (金) モアーズシティ

IV その他の事業

今年度は、その他の事業 (収益事業) に係る活動は実施していない。